

南薩地域感染症危機管理情報ネットワーク (NISE) ナイス

2026 第7週 (令和8年2月9日～令和8年2月15日)

【お問合せ先】 〒897-0001 鹿児島県南さつま市加世田村原二丁目 1-1 南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所）
TEL (0993) 53-2316 / FAX (0993) 53-4519 / E-mail minami-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

★ NISE (ナイス) : Nansatsu Infectious Diseases Surveillance of Epidemiology

加世田保健所管内でインフルエンザの報告数が警報基準値を上回りました。**流行発生警報を発令します。**
B型インフルエンザの潜伏期間は1～3日程度とされていますが、発症前から排菌し、感染を広げる可能性があります。流行期には、手洗い、マスク着用、定期的な換気等の感染対策を徹底しましょう。

1 定点報告疾患の発生状況

疾患名	警報		注意報 基準値	対象	2週	3週	4週	5週	6週	7週
	開始基準値	終息基準値								
急性呼吸器感染症(ARI)	-	-	-	加世田	34.50	32.50	31.00	39.50	69.50	59.00
				指宿	36.50	53.00	57.00	94.50	87.00	61.00
				県	64.81	66.23	87.79	100.68	119.65	
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	加世田	13.50	8.00	4.00	15.00	27.50	30.50
				指宿	10.00	25.50	42.50	51.00	71.00	37.00
				県	23.51	27.98	35.19	49.60	74.82	62.12
COVID-19	-	-	-	加世田	0.50	-	-	1.00	1.00	0.50
				指宿	0.50	-	-	-	-	-
				県	0.54	0.42	0.28	0.46	0.74	0.39
RSウイルス感染症	-	-	-	加世田	-	-	-	2.00	-	2.00
				指宿	-	2.00	-	-	1.00	-
				県	0.65	1.45	1.32	0.68	0.65	0.90
咽頭結膜熱	3.00	1.00	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	0.84	0.52	0.90	1.16	1.35	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	-	加世田	-	1.00	-	1.00	4.00	-
				指宿	-	-	2.00	-	-	-
				県	2.13	3.00	3.81	2.39	2.42	2.16
感染性胃腸炎	20.00	12.00	-	加世田	3.00	6.00	9.00	5.00	5.00	7.00
				指宿	7.00	9.00	5.00	3.00	4.00	1.00
				県	5.74	5.74	8.10	8.29	8.10	7.32
水痘	2.00	1.00	1.00	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	2.00	-	1.00	-	-	-
				県	0.81	0.45	0.61	0.23	0.45	0.32
手足口病	5.00	2.00	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	-	0.06	-	0.03	0.03	-
伝染性紅斑	2.00	1.00	-	加世田	-	-	-	-	1.00	-
				指宿	-	-	-	1.00	1.00	-
				県	2.06	1.03	1.81	1.35	0.77	0.39
突発性発しん	-	-	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	2.00	-	-
				県	0.16	0.26	0.39	0.52	0.19	0.19
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	0.03	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	1.00	-	-
				県	0.03	0.03	-	0.03	0.06	0.10

※鹿児島県のARI報告数は来週報以降に反映されます。また、データは後日訂正されることがあります。

警報 流行発生警報の基準値を超えた疾患

注意報 流行発生注意報の基準値を超えた疾患

加世田保健所 指宿保健所	◎警報発令中 (インフルエンザ) (インフルエンザ)	○注意報発令中 (なし) (なし)
-----------------	----------------------------------	-------------------------

2 全数報告疾患の発生状況 (管内全ての医療機関から届出のあった一～五類感染症)

第7週 (2月9日～2月15日)	結核：1件(指宿)
---------------------	-----------

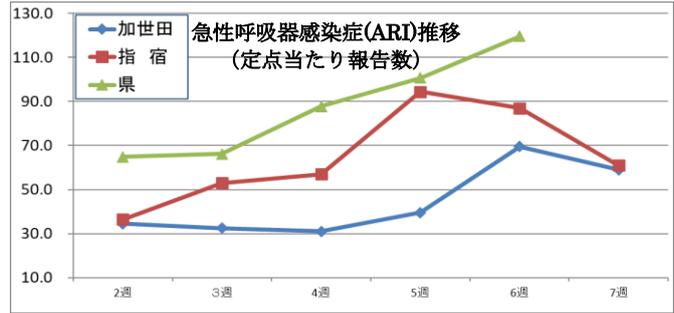
3 南薩地域で注目すべき感染症

※人数は定点医からの報告数です。全体の患者報告数ではありませんので、注意してください。

急性呼吸器感染症 (ARI)

第7週の報告数は、加世田保健所管内で118人(定点当たり59.00)でした。指宿保健所管内では、122人(定点当たり61.00)でした。

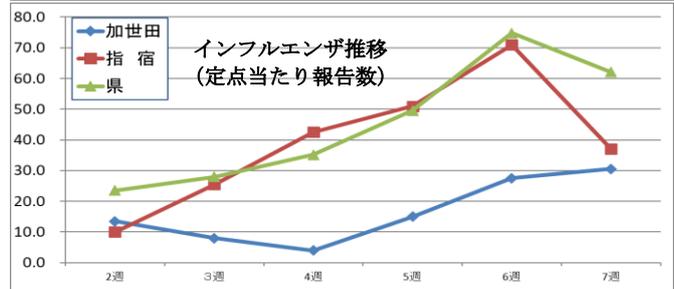
南薩地域内での年齢別報告数は、5~9歳(77人)、10~14歳(68人)、1~4歳(43人)の順に多く報告されています。



インフルエンザ

第7週の報告数は、加世田保健所管内で61人(定点当たり30.50)でした。指宿保健所管内では、74人(定点当たり37.00)でした。

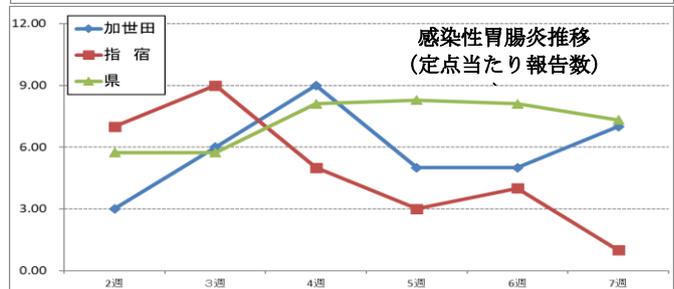
県全体では、3,541人(定点当たり62.12)でした。



感染性胃腸炎

第7週の報告数は、加世田保健所管内で7人(定点当たり7.00)でした。指宿保健所管内では、1人(定点当たり1.00)でした。

県全体では、227人(定点当たり7.32)でした。



今週の話題

ニパウイルス感染症について

今週は、ニパウイルスについて説明します。流行地へ渡航される方はお気を付けください。

○ 病原体

ニパウイルスはパラミクソウイルス科ヘニパウイルス属の1本鎖RNAウイルスで、自然宿主はオオコウモリである。

○ 感染経路

主な感染経路は、感染動物(オオコウモリやブタなど)との接触や、感染動物の唾液や尿などの体液で汚染された食物(ナツメヤシ等の樹液や果物)の摂取である。また、患者の血液や体液との接触によるヒト-ヒト感染も報告されている。日本国内では患者の報告はない。

○ 臨床像

潜伏期間は通常4~14日程度。発熱、頭痛、嘔吐、筋肉痛などで始まり、その後意識障害などの神経症状が現れ、重症化すると急性脳炎に至ることがある。

○ 治療・予防

特異的な治療法はなく、対症療法が中心である。予防としては、流行地において、オオコウモリやブタとの直接の接触を避ける。また、生のナツメヤシの樹液や、洗っていない果物の喫食は避ける。患者に接触する際は個人防護具の使用などの接触感染対策が必要である。国内で承認されたワクチンはない。

○ 法的取り扱い

感染症法における四類感染症に定められている。



詳細については、国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(JIHS)HPをご確認ください。